



立志

令和8年7月10日（金）発行
学校便り第7号
南城市立玉城中学校
文責 校長



学校教育目標：「自ら学び自ら考え」「心豊かに実践する」「たくましい生徒」の育成

3学年親子作業

7月5日に3学年の親子作業を行いました。台風7号接近のため、当初の予定から1週間延期となった親子作業でしたが、当日は多くの保護者、生徒が参加し、校舎周辺や運動場周辺の草刈り作業を頑張りました。お陰様で学校がきれいになりました。休日にもかかわらず、参加していただいた保護者の皆様ありがとうございます。学校では、子ども達によりよい学びの環境づくりに引き続き努めてまいります。次回は9月6日（日）に2学年の親子作業を予定しております。期日が近づきましたら、あらためてご案内いたしますので、2学年の保護者の皆様、ご参加よろしくお願ひ申し上げます。



開始式の様子



作業の様子



作業前



作業後

琉歌講座

7月7日と10日の両日に市教育委員会と連携し、琉球古典音楽・組踊（歌三線）奏者の大城貴幸さんを講師に迎え、1学年全学級で琉歌講座を実施し、琉歌のつくりかたの基礎を学びました。琉歌にまつわる歴史や文化、講師の先生の三線演奏も交えながら授業が展開され、生徒は楽しみながら授業に取り組んでいました。国語科では、1学年で「しまくとぅば」の授業を行っています。今回の琉歌講座の実施で、琉歌と共に「しまくとぅば」に対する生徒の関心もさらに高まりました。最近「しまくとぅば」を話せる人も少なくなり、「しまくとぅば」は絶滅の危機にある言語とされています。大切にしていきたいものです。



本校職員の「しまくとぅば」の授業



大城先生の琉歌講座

南城市少年の主張大会

7月9日に南城市少年の主張大会がシュガーホールで開催され、本校から3年生の謝花さんが出場しました。謝花さんは「私の最高の夢」と題して、自分の将来像やそれを叶えるためのこれからの生き方、そして、現在の悩みや葛藤などについて堂々と主張し、優秀賞を受賞しました。しっかりとした考えと内容、分かりやすい説明、そして堂々と発表する姿に感動しました。



助産師講話

7月9日に沖縄県助産師会会長の川満恵子さんを講師に迎え3学年で命の授業を行いました。若年妊娠のリスクや性加害・性被害を生まないことの大切さ等について丁寧にご講話いただきました。生徒からは「自分の体も相手の体も大切にしようと思った」「自分の体は自分で守ろうと強く思った」「子供を産むことの大変さを知った。親に感謝すべきだと思った」「子育ての大変さと家族のありがたさを改めて感じた」「相手に振り回されず自分の気持ちを伝えるのは大切だと思った」「自分の行動にちゃんと責任を持つと思った」「この世に生まれることが許されたので全力でこれから生きようと思った」「命の重みを知ってちゃんと考えられる人になりたい」など様々な感想が寄せられ、命の大切さや親のありがたさ、自らの行動への責任やお互いの尊重等、様々な事について深く考えることができました。



美術部アートコンクール

7月4日に南城市役所を会場として島尻地区美術部のアートコンクールが開催され、本校の美術部の皆さんが参加しました。当日は、制作した作品の中から、佐久間さんの作品が1年生の部で優良賞として選出されました。何か好きな事に打ち込むことで自分の能力を伸ばしたり、多くの学びを得ることが出来ます。今後も美術部の活躍に期待しています。

